

総合科目II 科目群B 100番台

整理番号	科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
II-62	1B01031	言語の万華鏡I	1	1.0	1・2	春AB	月1	共同利用棟A201	平井 明代	高校までに学んだ日本語と英語を異なる視点から再発見する体験を通じ、「語学」と「言語学」の違いを理解するとともに高校までの学習と大学における研究の違いを自覚する。	(人文開設) 【受入上限数120名】
II-63	1B02261	古典に学ぼう—日本・アジア編—	1	1.0	1・2	春AB	月1	3A209	本井 牧子, 秋山学, 吉水 千鶴子, 馬場 美佳	東アジアにおいては、文学、思想、歴史などのさまざまな分野で、数多くの典籍がうみだされ、人類に普遍的な「古典」の地位を獲得してきた。現在「古典」としてひろく認識されている典籍を味読・分析しながら、文化の問題に迫る。併せて、広く一般的教養を身につけることを目指す。	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数120名】
II-64	1B02321	宗教から見る現代世界	1	1.0	1・2	春AB	月1	3A304	木村 武史, 津城寛文, 山中 弘	今日のグローバル社会は、宗教の意義・役割を抜きにしては十分に理解することはできない。しかも、「宗教」といっても実に多種多様な宗教があり、単純に一つの見方から考えるだけでは、その様々なレベルにおける影響を十分に捉えきくことはできない。このような観点から、本講義では、現代世界で起きている出来事を「宗教」を通して見る視点を身につけることを目的とする。	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数120名】
II-65	1B03011	日本とは何かI	1	1.0	1・2	春AB	月1	2C404	中込 睦子	日本の国際化や多文化共生社会に対して、我々はどうのように向き合うべきなのか。海外および国内における日本語教育、世界の言語の一つとして日本語を捉えた研究、外国人との日本語コミュニケーションなどを通して、現代日本および日本語の有り様を考える。	(日日開設) 日本語・日本文化学類学生の履修を認めない。 【受入上限数120名】
II-66	1B04071	政治学入門:時事・政治・政治学	1	1.0	1・2	春AB	月1	1C310	明石 純一	新聞、テレビ、論壇等で話題になっている政治、行政、国際関係などに関する問題を取りあげ、政治学の観点から、理論的・実証的に分析する。	(社会開設) 【受入上限数120名】
II-67	1B06011	学校を考えるI	1	1.0	1・2	春AB	月1	2B309	山本 容子, 唐木清志	学校の生い立ち、社会とのかかわり、学校を支える仕組みなどに視点を当てて、今日学校が抱える諸問題を整理し、そのいくつかについて検討する。	(教育開設) 人間学群学生の受講は認めない。講義の一部にディスカッションを取り入れるため、受入上限数を80名とする。 【受入上限数80名】
II-68	1B20011	知的財産のしくみ(著作編)	1	1.0	1・2	春AB	月1	1H101	長谷川 秀彦	ニュートンが「私は巨人の肩に乗って仕事をした」と言ったように、大発見や科学の進歩は、それまでに蓄積された膨大な知識の上に築かれる。新しい科学的知識は、まず学術雑誌等に論文として発表される。この意味で、学術論文は科学の発展を支える知的財産であり、研究者は価値のある論文を人よりも早く出すことにし、それを削る。本科目では、研究者が論文を発表し、それが利用され、社会に認定・評価される仕組みについて学ぶ。	(知識開設) 【受入上限数120名】
II-69	1B05041	国際学を学ぶI	1	2.0	1・2	春AB	月1,2	3A402	黒川 義教	世界規模で国際社会が変化し、環境問題や人口問題が進行する中、国際社会で生じる諸現象について理解することが求められている。本講義では、グローバルな対応が求められる国際社会の諸課題に対して、人文・社会科学や情報・環境学における様々な視点や方法からアプローチしつつ、今後の国際社会の在り方について理解と考察を深めることを目的とする。この「国際学を学ぶI」では、特に、国際政治・国際法、経済学、文化・社会開発の視角から論じる。総合的な理解を得るために、情報・環境学の視点から論じる「国際学を学ぶII」とあわせて履修することが望ましい。	*国際総合学類生の受講は認めない。 (国際開設)【受入上限数120名】

※教室は、受講調整の結果等により変更の可能性があります。
変更のあった教室は掲示により周知しますので、必ず各支援室掲示板を確認してください。

整理番号	科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
II-70	1B01011	「知ること」とは何かI	1	1.0	1・2	春AB	月2	1D201	土井 裕人	学問とは、何かを知る営みである。しかし、「知ること」とはいったい何かと問われると、われわれは案外それを「知らない」のではない。人が物事を知ることの意味や構造、その限界などについて、主に哲学の立場から考察し、伝統的な思想や宗教のなかで紡ぎだされてきた「知」に対する思索や、他の人文諸科学や認知科学の提示する「知」へのアプローチなどを紹介しつつ、「知ること」について問い直してみたい。	(人文開設) 【受入上限数120名】
II-71	1B01111	民族の世界I—食文化と民族I—	1	1.0	1・2	春AB	月2	2B507	谷口 陽子	民族の世界Iでは、とくに日本列島および東アジアの食文化について考察する。私たち人間にとって生の根源である食とそれにまつわる食文化は、民族によって実に多様で、そこには豊かな世界が形成されている。世界各地の食文化を紹介しながら、「食」をキーワードに民族性やその背後にある文化にまで迫り、他者や異文化、そして自己を理解するための機会としたい。	(人文開設) 西暦偶数年度開講。 【受入上限数120名】
II-72	1B02271	現代社会の基盤ができたとき—欧米の18~19世紀文学をとおして考える—	1	1.0	1・2	春AB	月2	2C404	鷺津 浩子, 中田元子, 武井 隆道, ヘーゼルハウス, ヘラト	現代社会の基盤は、18~19世紀の欧米で形作られたといっても過言ではないだろう。たとえば、自然科学、近代医学、心理学、法医学、政治学、社会学、犯罪学などは、この時代に誕生している。また、テクノロジーの発展、知識の大衆化、女性の社会進出など、現代社会の問題と重なる部分も多い。そこで、この時期のドイツ、イギリス、アメリカの文学・文化を通して現代社会を考え直してみよう。	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数120名】
II-73	1B02311	戦争と文化	1	1.0	1・2	春AB	月2	1C310	海後 宗男, 畔上泰治, 仲田 誠, 白戸 健一郎	破壊を旨とする戦争をわれわれは、創造を旨とする文化の敵対者としてとらえがちである。だが、両者をたんなる対立関係においてしまうと、戦争がいかに文化と地続きであり、文化がいかに野蛮を内包しているかを、見落とすことになりかねない。この科目は、情報化学的視点からネット、メディア、映画やTV、さらには先端化学的視点からさまざまな人間のありようのなかに、戦争と文化はいかにからみあい身を潜ませているのかを考る。	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数120名】
II-74	1B04111	社会の表象—社会学データ入門—	1	1.0	1・2	春AB	月2	1H201	五十嵐 泰正	社会学はこれまで多様なデータを取り扱うなかで、多様な社会事象を記述し分析してきた。この授業では、近代社会・現代社会とその表象に関連するいくつかの主題を手掛かりに、社会学が取り扱う多様なデータについて、それらの読解方法を交えつつ紹介する。	(社会開設) 【受入上限数120名】
II-75	1B17031	経営の科学I	1	1.0	1・2	春AB	月2	3B405	渡邊 真一郎	ファイナンス(金融工学の基礎となる、金融とファイナンスの学問的「常識」を、いくつかの具体的トピックに触れつつ、出来るだけ日常的な感覚として捉えられるように努めながら説明する。) 会計学(会計学の導入部分である簿記と、簿記で作成される貸借対照表・損益計算書の読み方・分析方法を解説する。)	(社工開設) 【受入上限数120名】
II-76	1B17041	経済学入門II	1	1.0	1・2	春AB	月2	理科系C103	ターナル スティーヴン	現代社会では携帯電話から進化した「スマートフォン」という万能の携帯端末を持って各種ソーシャルネットワーク(SNS)に参加することが普通になった。SNSは人間関係にどんな影響を与えるか?情報ネットワークはどんな仕組みであるか?ソーシャルネットワークと交通ネットワークと通信ネットワークなど各種ネットワークの共通点と特徴を明らかにし、社会での役割と効果を考察する。	(社工開設) 【受入上限数120名】
II-77	1B20021	文学と映像作品の中の図書館	1	1.0	1・2	春AB	月2	3A304	溝上 智恵子	文学作品や映像メディアに表現された図書館像を通じて、図書館の歴史や現代社会における図書館・図書館員の役割について紹介する。	(知識開設) 知識情報・図書館学類学生の受講は認めない。 【受入上限数120名】

※教室は、受講調整の結果等により変更の可能性があります。
変更のあった教室は掲示により周知しますので、必ず各支援室掲示板を確認してください。

整理番号	科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
II-78	1B21201	こころの構造と病理	1	1.0	1・2	春AB	月2	2H201	齋藤 環	心の病から精神の構造を解き明かす精神病理学と精神分析、および天才の創造の秘密を探る病跡学に関する講義。	(医学開設) 【受入上限数350名】
II-79	1B24071	オリンピック	1	1.0	1・2	春AB	月2	5C216	嵯峨 寿, 真田 久	国立競技場やエンブレム問題など2020年東京オリンピックのホスト国として心配が絶えないが、これまでもオリンピックは様々な問題に直面してはそれを乗り越え今日に至っている。敢えてオリンピック史における暗部に触れることで現状を相対化すると共に、4年後に向けて緊張と展望が持てるようにしたい。	(体育開設) 【受入上限数150名】
II-80	1B25011	デザインと暮らし	1	1.0	1・2	春AB	月2	5C407	野中 勝利	デザインに何が出来るのか? 身近な暮らしや地域社会との関わりから、デザインの可能性、展開、課題を講述する。	(芸術開設) 芸術専門 学群学生の受講は認めない。 【受入上限数120名】
II-81	1B26511	日本の歴史	1	1.0	1・2	春AB	月2	2G205	山澤 学	日本の歴史について、各時代の重要なトピックを取り上げ、学修する。	(比文開設)履修は、留 学生および外国滞在 期間5年以上の帰国生 徒に限る。 【受講制限数40名】
II-82	1B03511	日本の生活文化	1	1.0	1・2	春AB	火2	2G407	朴 宣美	ジェンダーや少数民族の視点から、日本の社会と文化を考察・討論する。	(日開設)外国人留 学生及び帰国生徒に 限る。平成27年度以 前に(7200151)の単位 を既に取得している 学生は履修不可。 【受入上限数20名】
II-83	1B25511	日本の芸術とその鑑賞	1	1.0	1・2	春AB	火5	5C411	上北 恭史	日本の歴史的な生活様式、宗教、都市にかかわる芸術を通して、日本の芸術の特色を解説する。	(芸術開設) 外国人留学生及び帰 国生徒に限る。 【受入上限数20名】
II-84	1B01061	言語の万華鏡I1	1	1.0	1・2	秋AB	月1	1C310	平井 明代	世界規模で画一化が進む現代において言語文化の多様性を意識する意味はかつてないほど大きい。さまざまな言語文化を歴史的・社会的な視点から考察することにより、異文化を尊重し、相違を認め合う視点を涵養する。	(人文開設) 【受入上限数120名】
II-85	1B02291	現代の文化と文学— 「境界線」を超える文 学—	1	1.0	1・2	秋AB	月1	2B309	平石 典子, 青柳 悦子, 吉原 ゆかり	現代の文学は、時代、言語、地域、メディアといった様々な「境界線」を超えた文化現象として生成されている。多言語地域の最新の文学動向や、古典文学と映像、マンガ、ゲームの関係など、テクニクの交錯を広く見渡しなが、現代の文学と文化について考察する。	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数120名】
II-86	1B03021	日本とは何かI1	1	1.0	1・2	秋AB	月1	3A202	中込 睦子	ひとくちに「日本文化」あるいは「日本文化の特色」といっても、その内実は地域ごとに様々である。 この授業では、人々の生活文化の多様性について民俗学と地理学の立場から考察し、多様性に富む「日本文化」への理解を深める。	(日開設) 日本語・ 日本文化学類学生の 履修を認めない。 【受入上限数120名】
II-87	1B04101	法学入門	1	1.0	1・2	秋AB	月1	1H201	守田 智保子	法学の入門科目として法律知識のない初心者にも理解しやすいように、日常生活とかかわる様々な法について概観し、法的なものを見方を得ることができるようにする。	(社会開設) 【受入上限数200名】
II-88	1B06031	学校を考えるIII	1	1.0	1・2	秋AB	月1	2C107	岡本 智周, 佐藤 博志	「ゆとり批判はどうつくられたのか」「世代論はどう解きほぐせるのか」という問題意識をもって、学校教育、カリキュラム、学力、教育言説、世代論について論究する。	(教育開設) 人間学群 学生の受講は認めない。 講義の一部に ディスカッションを 取り入れるため、受 入れ上限数を80名と する。 【受入上限数80名】
II-89	1B17091	経営の科学III	1	1.0	1・2	秋AB	月1	3A402	渡邊 真一郎	生産管理(生産管理基礎、環境問題と現代生産美学)・人間・社会とIT(今後の要所であるITの進化に起因する企業経営や人間・社会のあり様の変貌と未来の展望)を説き、重要な問題点を認識し、社会の豊かさの考察を深める。	(社工開設) 【受入上限数120名】

※教室は、受講調整の結果等により変更の可能性があります。
変更のあった教室は掲示により周知しますので、必ず各支援室掲示板を確認してください。

整理番号	科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
II-90	1B24051	スポーツ技術を人文社会科学から考える	1	1.0	1・2	秋AB	月1	5C216	酒井 利信	スポーツの技術について、技術とは何か、ドーピングと倫理、スポーツとルール、スポーツの文化史、スポーツの学び方・教え方、スポーツと心理、日本人の技術観など、人文科学的側面からアプローチする。	(体育開設) 【受入上限数120名】
II-91	1B26521	日本の社会	1	1.0	1・2	秋AB	月1	1C305	明石 純一	日本の社会や政治の仕組み、その特徴について、様々な政策的課題の学習を通じて、理解を深める。	(社会開設)外国人留学生及び帰国生徒に限る。 【受入上限数120名】
II-92	1B01041	「知ること」とは何かI	1	1.0	1・2	秋AB	月2	1D204	土井 裕人	学問とは、何かを知る営みである。しかし、「知ること」とはいったい何かと問われると、われわれは案外それを「知らない」のではない。人が物事を知ることの意味や構造、その限界などについて、主に哲学の立場から考察し、伝統的な思想や宗教のなかで紡ぎだされてきた「知」に対する思索や、他の人文諸科学や認知科学の提示する「知」へのアプローチなどを紹介しつつ、「知ること」について問い直してみたい。	(人文開設) 【受入上限数120名】
II-93	1B01101	西アジア文明学への招待	1	1.0	1・2	秋AB	月2	1H201	常木 晃	現在の西アジア地域は、世界政治や経済の不安定要素とされ、不可解、危険などというキーワードで語られることが多いのですが、イスラーム以前の長大な歴史という視点から見つめ直すと全く異なる世界が広がります。この古い西アジア世界が達成した様々な伝統をここでは西アジア文明と呼んでいます。そこでは古くからの様々な革新的技術や新たな精神生活は、数千年後の私たちの生活する現代社会にまで大きな影響を与えています。この授業では、現代の人間社会の基層を創りだした西アジア文明について、歴史学や考古学、言語学、環境科学といった様々な分野の専門家が読み解いていきます。	(人文開設) 【受入上限数180名】
II-94	1B01121	民族の世界II—食文化と民族2—	1	1.0	1・2	秋AB	月2	2B507	谷口 陽子	民族の世界IIでは、とくに中央アジア・西アジア・ヨーロッパの食文化について考察する。私たち人間にとって生の根源である食とそれにまつわる食文化は、民族によって実に多様で、そこには豊かな世界が形成されている。世界各地の食文化を紹介しながら、「食」をキーワードに民族性やその背後にある文化にまで迫り、他者や異文化、そして自己を理解するための機会としたい。	(人文開設) 西暦偶数年度開講。 【受入上限数120名】
II-95	1B02281	異文化との対話—欧米 Humanitiesの愉しみ—	1	1.0	1・2	秋AB	月2	1C210	相澤 啓一, 小松 祐子, 加藤 百合, 増尾 弘美	異文化とは、「異文化」と「自文化」の間に何らかの境界線が意識されるとき、初めてそこに成立するイメージである。私たちは日頃、いったいどんな境界線を引いて、どんな「異文化」を作り上げているだろうか？この授業では、私たちが「異文化」についてどんなイメージを持ち、どんな接し方をしてきているのか、翻訳やジャポニズムの歴史、日本やヨーロッパ、カナダなどさまざまな文化圏における事例、さらには私たちの日常生活の中の異文化などをとりあげて、異文化との対話のあり方を検討する。	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数120名】
II-96	1B04051	経済学への誘い	1	1.0	1・2	秋AB	月2	3A202	篠塚 友一	社会科学の中で唯一ノーベル賞の対象となるまでに発展してきた経済学について、できるだけやさしく解説する。理論、歴史、思想などの多角的な入り口から高度に専門的な経済学へと入門するための道しるべやヒントを提供する。	(社会開設) 【受入上限数120名】

※教室は、受講調整の結果等により変更の可能性があります。
変更のあった教室は掲示により周知しますので、必ず各支援室掲示板を確認してください。

整理番号	科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
II-97	1B05051	国際学を学ぶII	1	1.0	1・2	秋AB	月2	3A402	黒川 義教	世界規模で国際社会が変化し、環境問題や人口問題が進行する中、国際社会で生じる諸現象について理解することが求められている。本講義では、グローバルな対応が求められる国際社会の諸課題に対して、人文・社会科学や情報・環境学における様々な視点や方法からアプローチしつつ、今後の国際社会の在り方について理解と考察を深めることを目的とする。この「国際学を学ぶII」では、特に、情報・環境学の視点から論じる。総合的な理解を得るために、国際政治・国際法、経済学、文化・社会開発の視点から論じる「国際学を学ぶI」とあわせて履修することが望ましい。	*国際総合学類生の受講は認めない。 (国際開設)【受入上限数120名】
II-98	1B17011	経済学入門I	1	1.0	1・2	秋AB	月2	2H101	栗野 盛光, 秋山 英三	私達は日々の生活の中で必要な物やサービスを消費、あるいは提供している。私達の社会で誰が何をどれだけ物やサービスを消費・提供するかという問題は、市場によって行われる。本講義では、市場の働きを理解し、多くの事例に触れ理解を深める。	(土工開設) 【受入上限数120名】
II-99	1B17061	経営の科学II	1	1.0	1・2	秋AB	月2	3B405	渡邊 真一郎	マーケティング(企業が製品やサービスを「創って、造って、売る」ために実施している施策を理解するための知識を教授する。学生、社会人として、企業行動を理解できるようになることを目指す。)企業金融(昨今新聞紙上を賑わせている様々な金融の問題について、それを企業の経済活動の観点から眺めることで企業金融のみならずファイナンス理論の基礎を身に付け、こうした問題についてきちんとした理解を行う。)	(土工開設) 【受入上限数120名】
II-100	1B20041	知的財産のしくみ(特許編)	1	1.0	1・2	秋AB	月2	2C404	岩澤 まり子	人間の創造力は、時代を超えて社会に生き続け、生活は便利・快適になっている。例えば有名なレオナルド・ダ・ヴィンチは、飛行機や戦車などを発明した。ノーベル賞の受賞により注目された青色発光ダイオードも、発明の一つである。この発明を一定期間独占する仕組みが特許である。本講義では、特許とは何か、特許に必要な手続き、特許技術の産業界への移転などについて、特許を申請する立場にたつて学ぶ。	(知識開設) 【受入上限数120名】
II-101	1B24191	スポーツと文化	1	1.0	1・2	秋AB	月2	5C506	山田 幸雄, 嵯峨 寿	アメリカで誕生した野球やバスケ、バレーなどのスポーツのルールや構造などの特徴は何か、また、テニスやゴルフといった他国から伝播したスポーツの運営や実践、観戦などに見られるアメリカ的な特徴などに触れ、日本発祥のスポーツや日本におけるスポーツ文化との相違について考える。	(体育開設) 【受入上限数120名】
II-102	1B25031	デザインと社会	1	1.0	1・2	秋AB	月2	5C216	五十嵐 浩也	デザインに何が出来るのか? 社会との関わりについてデザインの可能性を探る。プロダクト、情報デザインの視点から授業を行う。	(芸術開設) 芸術専門 学群学生の受講は認めない。 【受入上限数120名】
II-103	1B26101	ダイバーシティスタ ディーズ入門	1	1.0	1・2	秋AB	月2	3A301	関根 久雄, 河野 禎之	グローバル化の加速とともに、人種、民族、宗教、言語、身体的特徴、働き方など、多様な属性を備えた人々が入り混じりようになり、社会や組織のダイバーシティが否応なく高まっています。本科目では、このような現代社会が抱える諸問題への関心やその解決のための理解度を高めていくことを目指します。	(ダイバーシティ・ア クセシビリティ・ キャリアセンター デ イバーシティ部門、 教養教育機構企画) 【受入上限数80名】

※教室は、受講調整の結果等により変更の可能性があります。
変更のあった教室は掲示により周知しますので、必ず各支援室掲示板を確認してください。

整理番号	科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
II-104	1B03523	日本の地域社会見学実習	3	1.0	1・2	秋ABC	集中		加藤 晴美	本科目では、門前町や城下町といった日本の歴史的な町並みや博物館等を対象とした実地見学を行う。事前学習と、東京都内及びその近郊において実施する実地見学を通じて、日本の地域社会における歴史的・文化的な景観やそこに展開した生活文化の特色について学ぶ。	(日日開設)外国人留学生及び帰国生徒に限る。目的地・日程・費用等はCEGLOCと日・日学類に提示。人数制限あり。10/17、10/22、11/3、11/21、11/26、12/23【受入上限数30名】
II-105	1B26533	日本の産業見学実習	3	1.0	1・2	秋BC	集中		森本 健弘	日本の伝統産業やものづくりの現場を実際に訪ねて、現状を理解するとともに、問題点を考察する。交通費等は参加者負担。	(比文開設)外国人留学生及び帰国生徒に限る。西暦偶数年度開講。日本の伝統産業やものづくりの現場を実際に訪ねて、現状を理解するとともに、問題点を考察する。交通費等は参加者負担。【受講制限数20名】
II-106	1B01071	「知ること」とは何かIII	1	1.0	1・2	秋C	月1,2	1D201	土井 裕人	学問とは、何かを知る営みである。しかし、「知ること」とはいったい何かと問われると、われわれは案外それを「知らない」のではない。人が物事を知ることの意味や構造、その限界などについて、主に哲学の立場から考察し、伝統的な思想や宗教のなかで紡ぎだされてきた「知」に対する思索や、他の人文諸科学や認知科学の提示する「知」へのアプローチなどを紹介しつつ、「知ること」について問い直してみたい。	(人文開設)【受入上限数120名】
II-107	1B02301	現代の文化と理論—現代文化を読み解くために	1	1.0	1・2	秋C	月1,2	1H101	佐藤 吉幸, 小川美登里, 齋藤 一, 清水 知子	現代文化を論じるために必要となる、基礎的な学際理論(現代思想, 文化理論, 社会理論, 精神分析理論, ポストコロニアル理論など)を入門的に紹介しながら、それらを用いて、現代の文学・芸術・社会などのさまざまな文化現象について具体的に考察する。	(比文開設)西暦偶数年度開講。【受講制限数120名】
II-108	1B04121	市場と社会	1	1.0	1・2	秋C	月1,2	1H201	篠塚 友一	社会を構成する個人の意思決定の集合が「市場」という場を経由してどのように一つのコミュニティの経済を成り立たせているのかを検討する。社会の在り方を経済という視点を通して観察する意義と楽しさを学ぶ。	(社会開設)西暦偶数年度開講。【受入上限数120名】
II-109	1B06021	学校を考えるII	1	1.0	1・2	秋C	月1,2	2C102	佐藤 真理子, 磯田 正美	学校に期待されている子どもたちの育成に視点を置き、心や人権や教科等の内容にかかわること、及び授業を中心に今日学校が抱える諸問題を整理し、そのいくつかについて検討する。	(教育開設)人間学群学生の受講は認めない。講義の一部にディスカッションを取り入れるため、受入れ上限数を80名とする。【受入上限数80名】

※教室は、受講調整の結果等により変更の可能性があります。
変更のあった教室は掲示により周知しますので、必ず各支援室掲示板を確認してください。